

PTA 親子で学ぶ交通安全教室

7月17日（木）にPTA主催による「親子で学ぶ交通安全教室」が開催されました。この教室では、坂井警察署の皆さんによる交通ルールに関する実技と講義、そして三井住友海上保険株式会社の方から交通事故による損害の具体例についてのわかりやすいお話がありました。今回の取り組みは、交通ルールを単に「知る」だけでなく、「なぜそれを守る必要があるのか」「守らないとどんな危険があるのか」を考える貴重な機会となりました。

坂井警察署の講義では、自転車の安全な乗り方や横断歩道の正しい渡り方、見通しの悪い交差点での注意点など、日常の中でよくある場面を想定した実践的な内容が紹介されました。特に実技を通して、わずかな油断や思い込みが重大な事故につながることを実感することができました。自転車に乗る際のヘルメット着用の重要性や、一時停止の意味を改めて考えるきっかけとなり、「ルールを守ることが命を守ること」に直結しているという認識が深まりました。

また、三井住友海上保険株式会社の方からは、実際の法規をもとに、事故によってどのような損害が生じるのか、賠償責任や心身への影響など、現実的で深刻な内容を中学生にもわかりやすく説明していただきました。誰にでも起こり得る事例を通じて、「自分ごと」として受け止めることができました。

この教室を通して、交通ルールを守るとは、自分や家族だけでなく、まわりの人の命や生活を守ることににつながる大切な行動であると、改めて強く実感させられるものとなりました。

〔生徒の感想〕

・先日はお忙しい中交通ルールの大切さについて教えていただきありがとうございました。交通ルールの大切さを楽しく、改めて学ぶことができました。時々道路の右側を自転車で走ってしまうことがあるので、気を付けようと思いました。スマホを見ながら自転車に乗っている人をたまに見るので危ないなと思いました。また、ヘルメットを着けることで死亡事故を減らせると思いました。

・僕はこの交通安全教室で交通ルールの正しい知識を身につけ、しっかりヘルメットを着けるなど実践することが大事だと思いました。夏休みに自転車で出かけることもあると思うので、しっかりルールを守って自転車を運転したいと思いました。

・私はこの講演を聞いて今までよりも交通ルールを意識し登下校しようと思いました。今回の講演で聞いたことを家の中や地域で伝えて交通事故を少しでも減らせるようにしたいと思います。また、このことをきっかけにみんなの意識が高まったのではないかと思います。

（裏面に続く）



鍵かけ 1GP 表彰式

先日、本校に坂井警察署長と坂井地区防犯連絡協議会長が来校され、自転車の施錠率向上を目的とした「鍵かけー1グランプリ」の表彰式が行われました。この取り組みは、地域全体で自転車盗難の防止に努めようという活動の一環であり、各学校の生徒の施錠率を調査・評価するものです。その中で本校は、全校で自転車の施錠を徹底し、施錠率が99%という非常に高い水準を達成したことから、今回の表彰対象校として選ばれました。

表彰式では、警察署長や協議会長から、生徒の皆さん一人ひとりが防犯意識を持って自転車に鍵をかけるという基本的な行動をしっかりと実践していることに対して、大きな評価と感謝の言葉が贈られました。また、鍵をかけるという当たり前の行為が、実は大切な自分の財産を守るための第一歩であることや、自転車盗難が発生すると警察や家族にも多くの負担がかかることなど、実際の現場での体験を交えながらお話しいただきました。

このような機会を通して、普段の生活の中で「少しの注意」「当たり前の行動」が大きな防犯効果を生むということを、生徒たちも改めて実感することができたようです。学校としても、今後も引き続き自転車の施錠を呼びかけ、防犯意識を高める指導を継続してまいります。

また、警察署長からは交通安全の面についても言及がありました。自転車の乗り方や道路の歩き方、信号の守り方など、基本的な交通ルールを守ることが自分の命を守ることにつながるというメッセージが伝えられました。特に近年は、自転車による加害事故も問題となっており、被害者にも加害者にもならないために、交通マナーの向上が求められています。

保護者の皆さまにおかれましては、日頃からお子さまと一緒に自転車の使い方や交通ルールについて話し合っただき、安全・安心な生活を送るためのご協力をお願いいたします。学校・地域・家庭が一体となって、生徒の安全を守る環境づくりを進めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。

中学校チャレンジ！

鍵かけー1KG-1
開催 グランプリ

【開催期間】令和7年5月1日～6月30日

【実施内容】中学校4校が、学校に駐輪中の通学自転車の施錠率100%にチャレンジ！

【優勝校の決定】施錠率が高い学校や向上率が高い等取組が優れた学校には主催者から表彰させていただきます。

【主催】坂井地区防犯連絡協議会・坂井警察署

自転車止めたら 2ロック!!

令和6年坂井署管内の
自転車盗難被害の8割が無施錠
被害者の半数以上が中高生

大切な自転車を盗難から守るため、学校全体で
鍵かけの習慣づけに取り組んでください！



6月の自転車の施錠率が高かったとして
松本署長(左)から表彰される生徒18
日、坂井市丸岡南中



この日、松本一樹署長が生徒会長の古川阿久里さんに表彰状を渡し「必ず鍵をかける習慣を続け、市、県のモデル校になることを期待する」と激励した。

丸岡南中では全校生徒315人に自転車通学を認めている。同校は4回のチェックの内、施錠率100%を1回達成、3回は1台程度が無施錠だったという。

同署管内で自転車の盗難被害が増えていることから、管内4中学校を対象に、施錠率の高い学校を表彰する「鍵かけ1グランプリ」を企画した。5月から啓発を始め、6月に週1回、署員らが抜き打ちチェックした。

坂井署と坂井地区防犯連絡協議会は18日、自転車の施錠率が高かったとして坂井市丸岡南中を表彰した。

坂井署、施錠率100%も

坂井署、施錠率100%も

(下の記事は7/20の福井新聞より)